

介護を地域で支え合う

介護予防・日常生活支援総合事業

団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう支援するサービスの重要性が高まっています。

そこで、2015年の介護保険法の改正により、介護事業者や地域住民などの多様な担い手が参画し、さまざまなサービスを充実させ、高齢者に対する効果的かつ効率的な日常生活の支援をする「介護予防・日常生活支援総合事業」を市町村が実施することになりました。

市では、新たな基準による「訪問型サービスA」、「通所型サービスA」を創設し、このサービスの担い手を育成しています。

【高齢福祉介護課支援給付担当】

高齢化の進展により、介護給付費、介護保険料が上昇しています。2025年には要支援認定者数は4556人と見込まれ、今後、介護サービスの重点化・効率化が必要となっています。

市の高齢者人口・要支援認定者数の推移

	2006年	2016年	2025年
総人口	22万9950人	24万1863人	24万3161人
高齢者人口(65歳以上)	4万2578人	6万1147人	6万3700人
(うち75歳以上の人口)	1万7178人	2万8851人	3万8137人
高齢化率(65歳以上)	18.5%	25.3%	26.2%
(うち75歳以上の割合)	7.5%	12.0%	15.7%
要支援認定者数	1425人	3212人	4556人

第6期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画より。各年10月1日現在
2006年、2016年は実績値、2025年は推計値

新たな担い手の育成 総合事業担い手研修 受講者を募集

茅ヶ崎市総合事業の「訪問型サービスA」、「通所型サービスA」では、市が実施する研修の修了者が担い手としてサービスに従事することになりました。「身体介護を含まない生活援助サービス」である訪問型サービスAでは、「未経験だけど、訪問介護などの仕事に興味があるから働きたい」という方を対象としています。ぜひ、研修にご参加ください。

※ 資格・要件により受講できない場合があります。詳細は市HPをご覧ください

このバッジをつけて活動しています！



調理、掃除などを支援 生活援助員研修



訪問型サービスAの事業所に雇用され、利用者の居宅で調理、掃除、洗濯などの生活援助の仕事ができる。

日時 ①2018年2月10日(土)・11日(日)
いずれも9時～16時30分(全2回)
②2018年2月14日(水)・15日(木)
いずれも9時～16時30分(全2回)



場所 ①市役所分庁舎コミュニティホール大集会室、A・B会議室②勤労市民会館B研修室

対象 高校生以上で生活支援サービスの仕事を希望する方各回30人程度(申込制(抽選))

申込 12月15日(金)～2018年1月15日(月)に申込書(12月15日(金)～各公共施設などで配布。市HPで取得も可)を
FAX050(5837)1484または〒253-0084円蔵1377-2茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会事務局へ

ほか 費用1400円(テキスト代)。現場で働く職員による訪問型サービスAの説明会も予定

問合せ (一社)茅ヶ崎介護サービス事業者連絡協議会事務局 ☎070(1261)7738 青木

生活援助員研修を受講後、さらなるステップアップに サービスA担い手研修

- ・訪問型サービスAのサービス提供責任者として、生活援助や訪問型サービス計画の作成などの仕事ができる
- ・機能訓練や日常生活上の支援を行う通所型サービスAの管理者になることができる。

日時 ①2018年2月12日(月)9時～16時30分
(左記生活援助員研修①を含む全3回)
②2018年2月16日(金)9時～16時30分
(左記生活援助員研修②を含む全3回)

生活援助員に聞く 研修を受けて感じたこと

◆ 現場の声が聞ける研修

家政婦の経験はありましたが、ヘルパーの経験はなかったのでも勉強になりました。実際に働いている方から、現場の話や高齢者への接し方など生の声が聞けたので、とても参考になりました。

◆ 日々の業務

業務内容は自分が主婦としてやってきたことの延長なので、すぐに慣れることができます。サービスAは単に家事などの支援を行うだけでなく、利用者の心身の状態も改善できると感じています。訪問を重ねるにつれて利用者自身がやってみようとするが増え、生き生きとした表情に変わってきたと感じています。

◆ 資格はないけれど仕事に就きたい方へ

受講することにより、要支援1・2の方へサービス提供ができるのは、資格取得と捉えることができます。元気な高齢者が多い昨今では、潜在的なニーズはあると思います。自分も無資格で仕事をしていましたが、この研修を受けたことで本当に勉強になりました。



お話を聞いた茅ヶ崎ケアサービスのみなさん